



《 母親の愛情 》

## ブラッドレーの請求書

日曜日の朝のことです。朝食のテーブルに着いたブラッドレーは、お母さんのお皿の横に、ていねいにたたんだ1枚の紙切れを置きました。

朝食を食べ終えて、その紙切れに書かれていることを読んだお母さんは、ブレッドレーが本気でそんなことを書いたとは、信じられませんでした。

その紙切れは、代金の支払いを求める、お母さんへの請求書だったのです。

### 請求書

・お使い代	-----	1ドル
・留守番代	-----	2ドル
・音楽のお稽古に行ったご褒美		1ドル
合計	--	4ドル
		ブレッドレーより



お母さんは、その紙をポケットにしまい、何も言わずに、静かに微笑みました。

やがて、昼食の時間になりました。テーブルの上に置かれたブレッドレーの皿の横には、4ドルのお金が置かれていました。

ブレッドレーは、そのお金を見て、自分で考えた計画がうまくいったと思い、大喜びしました。けれども、そこには、お金と一緒に1枚の小さな請求書がありました。

その請求書には、こう書かれていました。

### 請求書

・大切に育てた代金	-----	0ドル
・病気をしたときの看病代	----	0ドル
・服や靴代	-----	0ドル
・食事代、部屋の掃除代	-----	0ドル
合計	--	0ドル
		お母さんより



これを読んだブレッドレーの目は、涙でいっぱいになりました。お母さんに駆け寄ったブレッドレーは、「お母さん、ごめんなさい。」と言って、さっき受け取ったばかりのお金を、お母さんの手に返しました。

「どうとく」教科書 (4年生)

♥ Happy Birthday 9/26・牧 健太郎君 9/26・増山 綾音さん